

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリー：
変化をもたらすロータリー：
変化をもたらす

Vol.51 第2487回例会

2018.3.29

今年度会長テーマ

行動すれば何でも出来る! 希望を持って取り組もう!

■司会：小町委員

■点鐘・会長挨拶・会務報告 石山会長

本日が米山奨学生として最後の出席となりました陳均欣さん、ありがとうございました。

今は、桜の見頃となり満開の桜ですが桜の寿命は60年と言われています。桜に負けないよう頑張っていきたいと思います。

■合唱：ロータリーソング「それでこそロータリー」
◆ソングリーダー：野澤(厚)会員■お客様紹介：
野村パスト会長

本日のお客様は、東京西北RC 福田紘一様、米山奨学生 陳均欣様、元会員の當間眞様、卓話者のアイスホッケースマイルジャパン平昌五輪日本代表ディフェンス 床垂矢可様です。



■幹事報告 岩原幹事

■ガバナー事務所
→次年度会長、次年度野崎プログラム委員長
2018-19年度米山卓話依頼書について
締切 6/30 (米山月間は10月)



■補助金委員会

→次年度会長、幹事、次年度小町R財団委員長
2018-19年度ロータリー財団補助金奨学生(候補)オリエンテーション及び走行会の案内について
5月17日(木)15時~学士会館

■国際ロータリー日本事務局→週報担当委員会へ
2018年4月のロータリーレート 1ドル=104円

■国際奉仕委員会→山本地区委員、野村地区バギオ委員長
2017-18年度第5回地区(拡大)国際奉仕委員会の案内について
2018年5月9日(水) 16時30分~ グランドアーク半蔵門

■日体桜華高等学校→会長
校名変更のお知らせ(平成30年4月1日より)
旧：日体桜華高等学校、桜華女学院中学校
新：日本体育大学桜華高等学校、日本体育大学桜華中学校

■東村山市(官民協働事業)→会長(資料持参します。)
2018年度版「東村山市市民便利帳」への広告掲載の協力について
市民の日常生活に関わりある制度や、窓口案内等行政情報をまとめた2018年度版「東村山市市民便利帳」の発刊と無料配布
費用負担は無し

■出席報告 清水会員

■会員数：30名 ■欠席：3名 ■本日の出席者：25名
■出席率：89.29% ■前々回出席率(修正後)：71.43%

■ニコニコBOX 石嶋会員

■皆出席：
戸澤会員(24回目)
石山会員(11回目)



■例会日/毎週木曜日 12:30~13:30

■例会場/八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会/中條 基成

■事務所/〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

- ◆ 當間眞様：お久しぶりです。本日は床垂矢可の卓話よろしくお願ひします。
 - ◆ 福田絃一様(東京西北RC)：お世話になります。
 - ◆ 石山会長・岩原幹事：アイスホッケースマイルジャパン平昌五輪代表床垂矢可さんようこそおいでくださいました。陳さん、これからの活躍に期待しています。
 - ◆ 清水会員：東村山市民ゴルフ大会、優勝しちゃいました。
 - ◆ 樺澤会員：當間さま、床垂矢可様ようこそ。陳さんに寄せられました皆様のご好意に心より感謝申し上げます。
 - ◆ 戸澤会員：當間さんお久しぶりです。卓話楽しみです。陳さん、1年間早いですね。お元気で。
 - ◆ 小町会員：當間さん本日はありがとうございます。平昌オリンピックスマイルジャパンの床さん、卓話楽しみにしています。
 - ◆ 田中会員：床さん、オリンピック大活躍おめでとうございました。東村山住民の誇りです。
 - ◆ 北久保会員：陳さん、今後のご活躍をお祈りいたします。當間さん、本日は床さんのご案内ありがとうございます。
 - ◆ 野村会員：床垂矢可様、本日はご苦勞様です。今後の活躍をご祈念申し上げます。
 - ◆ 中丸会員：スマイルジャパン床様ようこそ。當間さんご紹介ありがとうございます。陳さん、これからも頑張ってください。
 - ◆ 嶋田会員：床姉妹の大活躍に感動しました。今後も身体に気を付けて頑張ってください。
- 合計：33,000円 ● 累計：1,009,000円

表彰

陳均欣さんへの感謝状、カウンセラー樺澤会員への感謝状



■ 米山奨学生 陳均欣さん

ロータリーは卒業ですが、これから2年間、修士になるのでイベントでお会いしましょう。

■ 樺澤委員より

皆様の1年間の陳さんに対するご声援をありがとうございました。陳さんが、印象に残った事は、第1番が柏崎の原発の研修で第2番がクリスマス会でのピアノの弾き語りです。第3番が金子バスト会長の叙勲でした。今後は、早稲田を卒業し大学院へ進むこととなりました。

委員長報告

■ 歩こう会ハッピーライフ支援プロジェクト 北久保実行委員長

チラシを作成し皆様へ各々30枚を用意しました。ご近所等に配布ください。

■ バギオ基金支援特別委員会 野村委員長

バギオ基金を考える会議を行いました。今までのやり方を変えていこうという意見もあり皆様へご相談する機会が増えると思います。よろしくお願ひ致します。

卓話

■ 卓話者紹介： 當間眞元会員



本日の卓話者の床垂矢可さんは、私の姪っ子です。東村山でも冬のスポーツができる。選手が育つのです。現在、全日空でお勤めで、所属が西武プリンスです。床姉妹のお姉さんにお越し頂きました。

■ 卓話者：アイスホッケースマイルジャパン 平昌五輪日本代表 ディフェンス 床垂矢可様



今回の平昌オリンピックでは、パブリックビューイングをして頂いたり市役所へ訪問する度に沢山の皆様の応援を頂いたり東村山は気持ちの暖かい人が多いところだなど思いました。毎回、疲れ果てて遠征から東村山に戻る度に、ホッとする思いです。明日経団連で話をする機会があり、そこで話す予定と同じ内容で話ができればと思います。今は、23歳で1994年に東村山市で生まれました。アイスホッケーを始めた理由は、自分が通っていた幼稚園がスポーツ幼稚園で、制服がジャージでした。その幼稚園で、アイスホッケーの授業があり、そこでアイスホッケーの虜になりました。母にお願いして3歳からスケート教室に通い始めました。長野オリンピックの時に、アイスホッケーが正式種目になり小さい時から、周りの方々にオリンピックに行くと言われ続けていました。また、園訓にも「やればできる」とあったので軽い気持ちでオリンピックへ行くことを意識しました。小学校までは、男の子たちの中で練習をし、男の子には絶対負けたくないという気持ちで練習を重ねました。男子のチームでキャプテンになったりと経験を重ねました。中学生になると社会人チームへ入りオリンピックの選手も居てオリンピックにさらに近づきました。中学3年に日本代表に選ばれました。高校1年生の時にバセドウ病になり、普通の動作や運動ができなくなりました。大好きなアイスホッケーができなくなり精神的にも滅入ってしまう時期でした。高校2年生の春に東京の病院でバセドウ病と診断されました。甲状腺から通常の30倍のホルモンが分泌されていたので、下げる薬を飲みながら対応をしていました。病院で、甲状腺を手術する事となり両親に反対され心配をかけたしまいましたが、自分は手術をすれば必ず治ると楽観的に考えていました。ソチへの思いから北海道で急遽手術をし、高校3年の時にソチオリンピックの最終予選で日本人として自力で出場する事ができ、長野以来4大会ぶりにオリンピック出場する事ができました。大学4年生の時に平昌オリンピック最終予選が北海道の苫小牧で行われ今年社会人になって1年目に2度目のオリンピックへ出場する事が出来ました。ソチオリンピックの雪辱を晴らすべくメダルを目標に頑張ってきました。残念ながらメダルには届かず、6位の成績でした。これは、日本の記録としては史上最高位でした。しかし、メダルを取れるチームにはなりきれては居なかった。結果を残すチームは、強い。それだけの力があるから結果を残せる。自分も2大会の経験を経て、次は更に向上して挑みたい。メダルを取って皆様にお見せしたい。

■ 閉会点鐘：石山会長